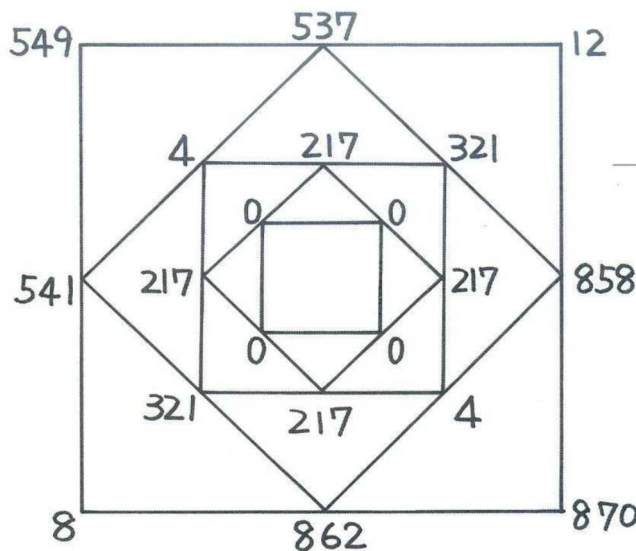


「不思議な引き算」

正方形の頂点にどんな数を入れても、ひき算を続けると 0 で終わる不思議なひき算です。

やり方

- ① 大きな正方形を描き、好きな数を正方形の頂点にその数をかく。
(下の例では、549、12、8、870)
- ② となり合う各頂点の数でひき算して、(大きい数-小さい数)その答えを正方形の真ん中(中点)に書く。
($549-8=541$ 、 $549-12=537$ 、 $870-8=862$ 、 $870-12=858$)
- ③ 次に、中点どうし線で結んで新しい正方形を書く。
- ④ 新しい正方形の各頂点の数で再びひき算をし、中点に答えを書く。
- ⑤ 同じように、次つぎ計算していき、どんどん小さくなる正方形をかいていく。
- ⑥ 4つの頂点が0になったら、正方形がいくつ描けたか調べる。
(下の場合は4つ)



できたら、はじめの数を変えて、正方形が 10 個以上になる数を見つけよう。

やってみよう!

